未来の京田辺について考えよう！
まちづくり市民ワークショップ

～第３回 第４次京田辺市総合計画策定のためのまちづくり市民ワークショップ結果概要～

平成 30 年 10 月９日（火）19：00 より、京田辺市商工会館　ＣＩＫビル３階で開催しました「第３回　第４次京田辺市総合計画策定のためのまちづくり市民ワークショップ」は 17 名の方が参加されました。

今回は『アクションを実行するために私たちは何をする？』というテーマで第１回、２回のワークショップで皆さんからいただいた意見をプロジェクト案としてとりまとめました。

【野田先生講評（要旨）】

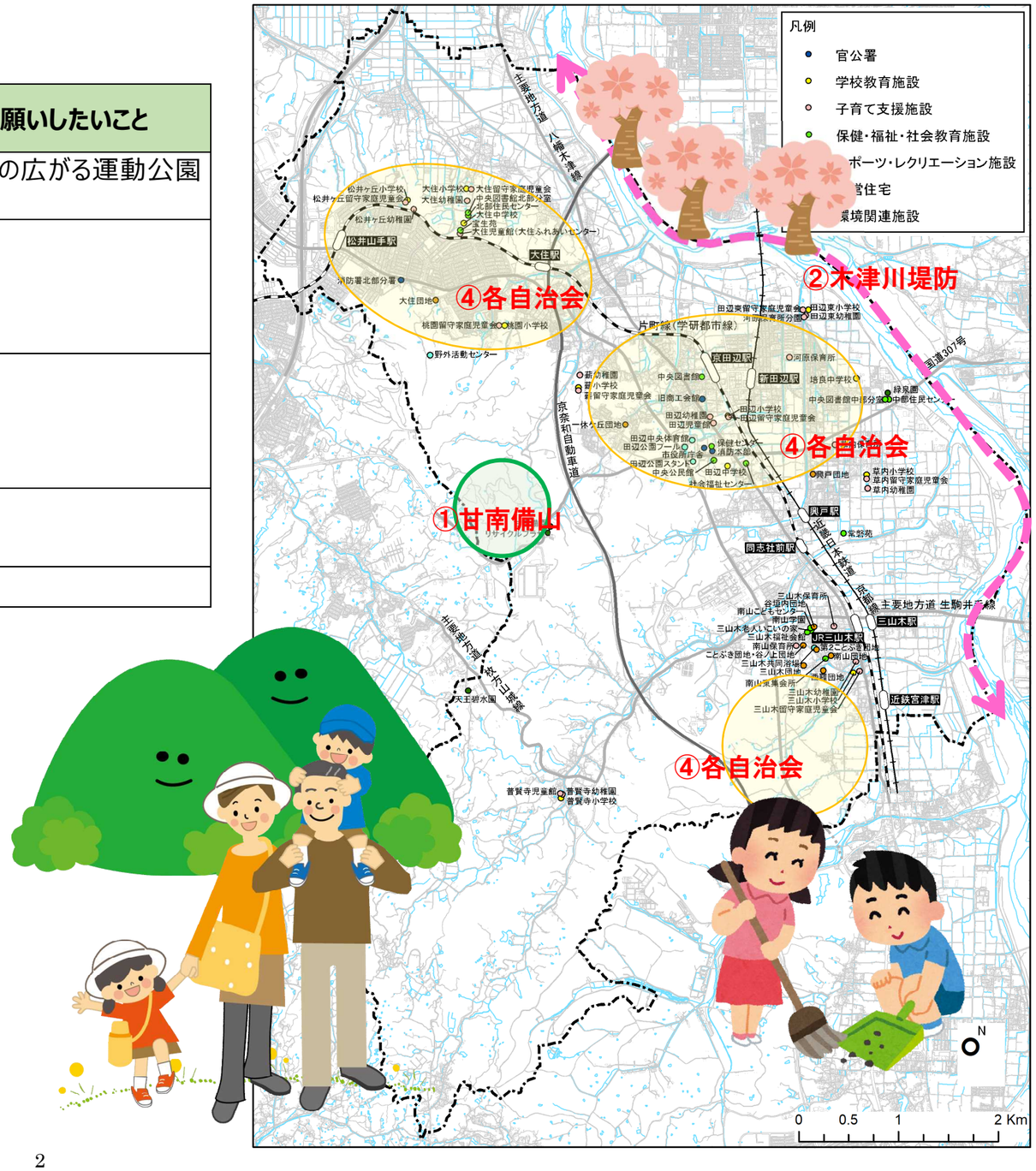
- 第１回は、将来の夢として理想の姿を考えて頂き、第２回では具体的な取組、そして第３回では行政、市民で何ができるかをとりまとめて頂いた。
- 取組を行う場合には、環境づくりが重要であるが、例えば、あいさつや声がけ、地域のリーダーの発掘、イベントにスタッフとして参加すること等は、市民である皆さんが行うものであり、行政ではできないことだと思っている。
- ワークショップでは、参加された方がお互いの意見を尊重しながら議論が進められており、チームワークが感じられた。
- 意見については、方向性は一致しているようで、実はそれぞれ異なっており、議論する過程で妥協することも感じて頂いたと思う。班を構成するメンバーによっても変わってくる。
- ワークショップで出された意見は総合計画審議会での検討時に参考にして頂きたい。
- 民意を把握するためには、市民と継続して接することが必要だと思っている。

1．自然･環境

私たちが考える　緑あふれるまちづくりプロジェクト（案）

アクション：地域の豊かな自然環境と共存する仕組みづくり

	取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
①	子どもが遊べる公園をつくる	• 甘南備山を親子で山歩き、ハイキングをします	• 自然、芝生の広がる運動公園の整備
②	年中花が咲いている場所をつくる	• 耕作放棄地を利用した花づくりを進めます • 木津川の堤防に桜並木をつくります	
③	自然観察のイベントを催す 自然に触れ合う機会をつくる	• 季節ごとに観察の機会をつくります • 色々な場所を自転車などで回れるようにします	
④	ごみの落ちていないまちづくり 道路の清掃を行う	• 自治会の清掃＋ちょっとの場所まで掃除をします	
⑤	ホタルを守る会をつくる		



2．安全･安心

私たちが考える　ほっと HOT ネットワーク　プロジェクト（案）

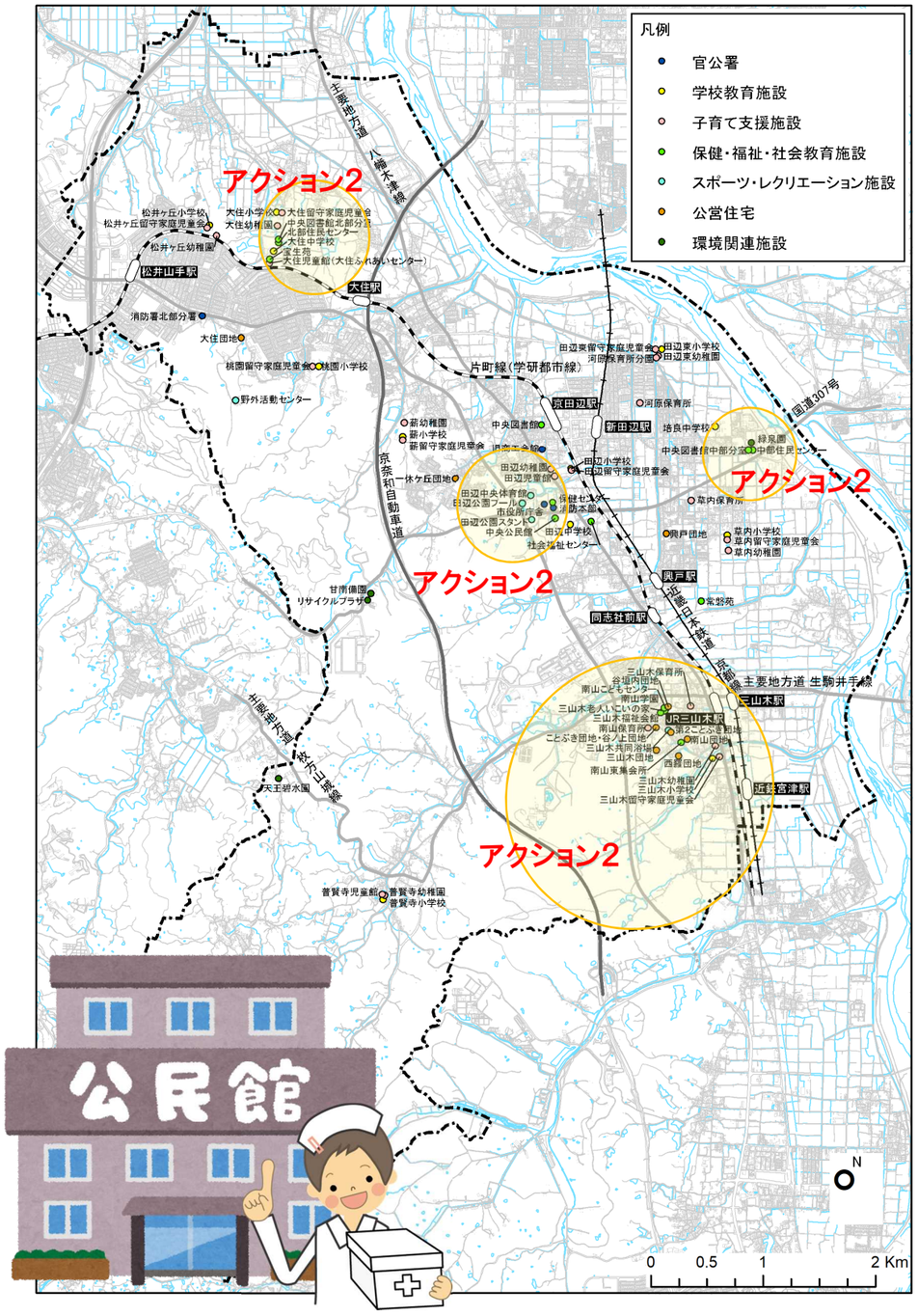
アクション１：多様な主体間のネットワークづくり

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
市民が主体的にまちづくりに携わって人の絆を大切にし、まちづくり協議会をつくり地域の課題を解決する	• NPOとして協議会のネットワークづくりにスタッフとして活動します • 地域の主役は「自分だ」という自分事として参加します • 自治会活動に積極的に参加します • 地域内での声かけ、挨拶を励行します	• 幹線道路と通学路への防犯カメラの設置
災害に備えた住民による連絡網の整備、ご近所ネットワーク（地域 SNS）を構築する	• SNS のメンバーを集めます • 女性のリーダーを作りましょう • NPO として災害時に活動します • 消防士を増やしましょう • 老人会のスタッフとして昼間の連絡に協力します • 非常時の情報共有として行政・民生児童委員、自治会の状況共有をします	

※市域全体として取組みます。

アクション２：安心して医療相談できる環境づくり

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
公民館やコミュニティホールで医療相談できる（遠隔地でも可）	• 三世代交流、地域公民館でご近所づきあいをします • 遠隔地をつなぐ IT ツールの接続、セットを支援します	• 住民センター等に看護師や子育てについて相談できるスタッフの常設



3．賑わいづくり

私たちが考える　みんなの広場づくり　プロジェクト（案）

アクション１：目に見える広場づくり

⇒新たな箱物を作るのではなく、今ある道を使う工夫

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
継続的な行事を行う	**【商工会】** • 事務局になります • ボランティア団体に働きかけ、店を出してもらいます • ボーリング場、パチンコ屋に働きかけ場所（駐車場）を提供してもらい小ステージを作ります **【市民】** • 店を出します	• 交通規制、警察の協力要請 • 市の広報での PR • イベント継続に対する予算化 • 市議会の出店（市民相談のブース）
店･市場を PR する（産業創出と一体化）	• 観光協会は地場野菜、果物、茶等をアピールします • 各所属部門と連携します	
イルミネーションを冬の風物詩にする	• 文化協会のサークルが協力します • 社会福祉協議会がボランティアをします • 同志社大学のクラブが協力します（例：グリークラブ、オーケストラ、手品、落語等） • 小中学校のブラスバンドや芸術展示を行います	

アクション２：ふれあい広場づくり

老若男女、日本人、外国人、同志社の学生 ➡ **学生とのふれあい ⇒住民同士のふれあい** ➡ **東西南北、市全体のふれあい ⇒市民同士のふれあい**

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
学生と地域の交流の場（スポーツ･芸術）をつくる	• 体育会は小学校、中学校、市民にスポーツ、音楽、英語等の指導を行います • サッカーのユースチームやラグビーのジュニアユースチーム、野球のリトルチームと同志社との試合を行います • 受講生を市民に開放し学生と一緒に学ぶ機会をつくります	• 強力なリーダーシップ • 教育委員会の積極的な協力、参加

４．産業創出

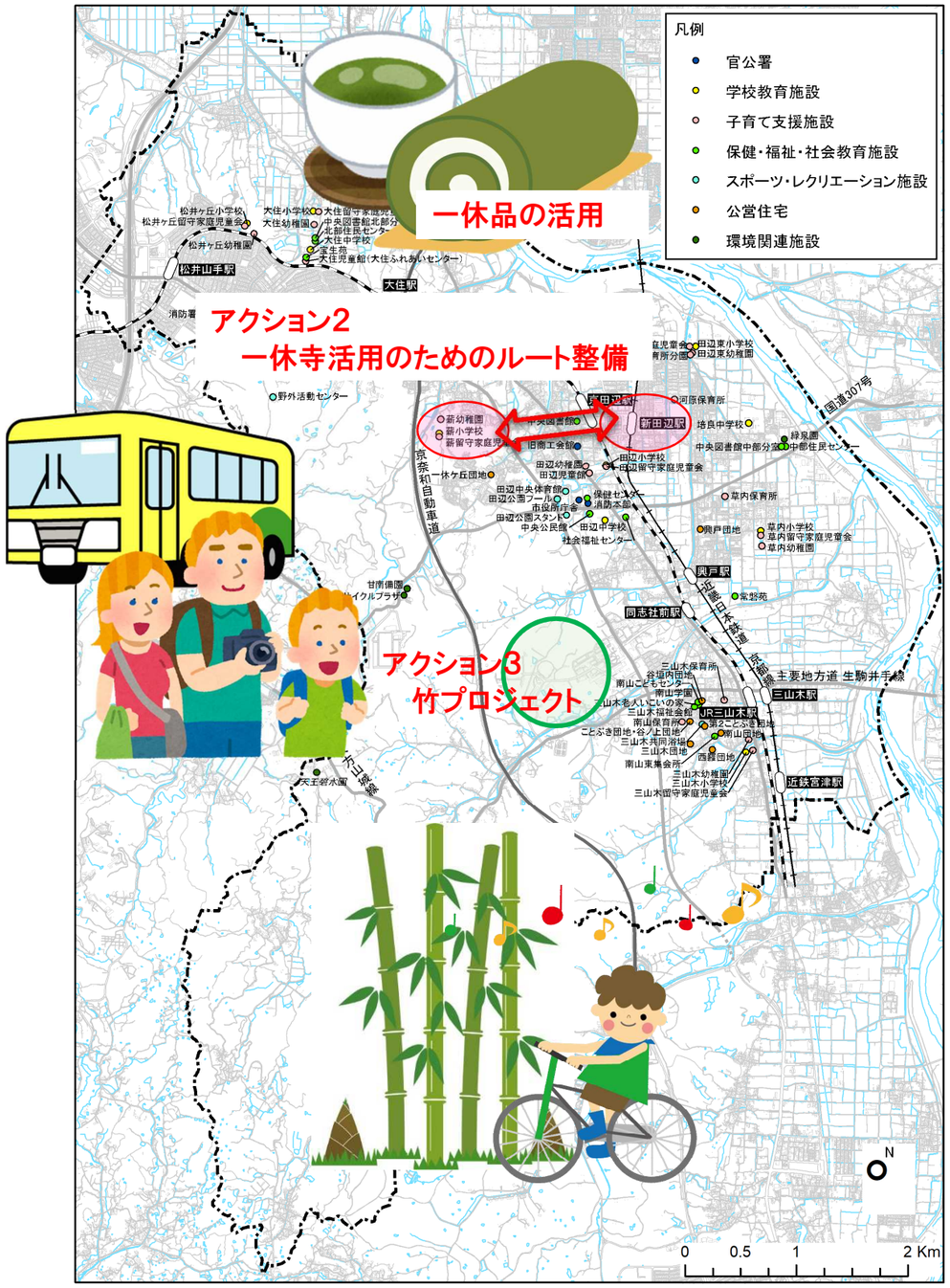
私たちが考える　京田辺 魅力発見・発信　プロジェクト（案）

アクション１：京田辺市の特産品のブランド化

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
新たな特産品をみんなで生み出す	• 市民・企業・行政が一体となって協議会に参画します • 一つの特産品にこだわって開発！！こじつけでも OK なストーリー展開を進めます • １つ成功事例をつくります • 一休品の活用⇒投票イベント⇒観光協会＋市民が協働し、超一休品を作ります	• 特産品開発の協議会立ち上げ

アクション２：地域資源を活かした観光振興

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
自転車を活用した観光振興を進める	• 素人コース、サイクリストコース、お楽しみ店舗、観光コースなどのサイクルマップづくりをします	• 自転車のまち同士のネットワークを活かした PR • ツアーオブジャパン開催地と連携し、コースを回れはオリジナルグッズがもらえる仕掛けづくり
意外に知らない資源を学ぶ（古代・歴史）、一休寺を活用した観光振興を進める	• 一休寺までの道程をもっと生かします • 土産物の店舗を企業が立地します	• インバウンド（外国人）にも対応したシーズン無料バス

アクション３：産・官・民　竹プロジェクト

取組	私たちができること	行政にお願いしたいこと
学研都市・同志社大学の研究として竹資源の活用を進める	• 竹カフェを復活し、市民への周知をします	• 民間企業・大学・行政による研究会の立ち上げ • 産業祭での啓発